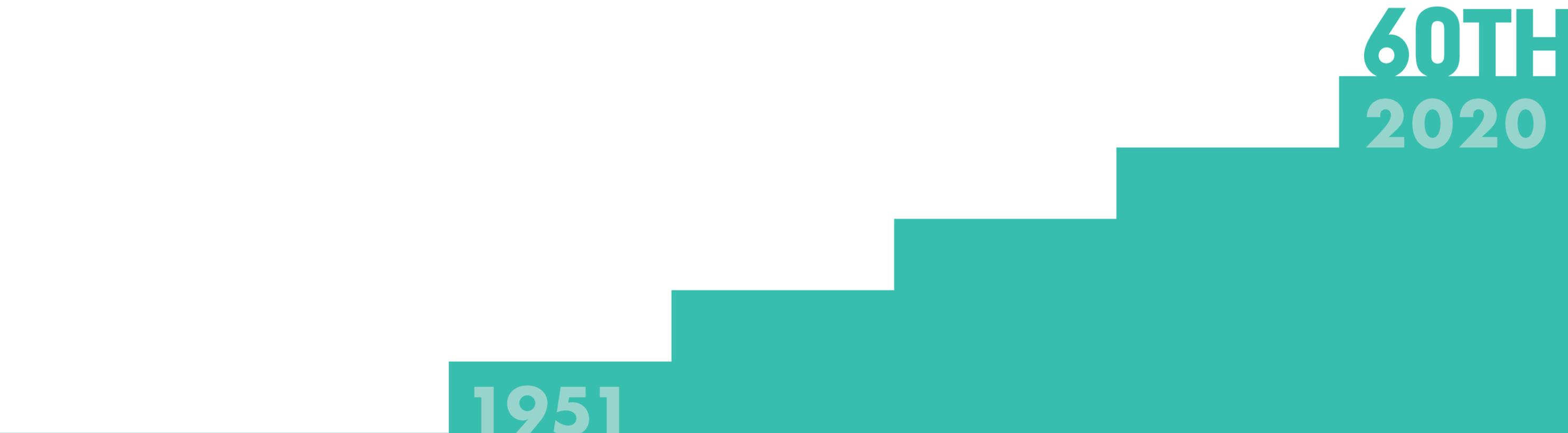




本 社
〒456-0055 愛知県名古屋市熱田区南一番町15番5号

豊川本社
〒442-0008 愛知県豊川市南千両2丁目67

A graphic consisting of a series of teal rectangular blocks of increasing height, arranged from left to right to resemble a staircase. The blocks are positioned at the bottom of the page, with the tallest block on the right side.

60TH
2020

1951

加山興業株式会社

KAYAMA'S DNA



[VALUE]

約束する価値・強み

1. 知識と見識
2. ホスピタリティマインド
3. 環境保全
4. R&D(研究開発)

[VISION]

実現すべき未来

Our Planet, Our Home

緑あふれるクリーンな日常を世界に。

道しるべ

[MISSION]

日々果たすべき使命

お客様満足を追求め、快適な環境を創造し、未来も満たされるサービスを提供し続ける。

アイデンティティ

[SLOGAN]

合言葉・モットー

I'm Here!
いつもそばに

[CREDO]

大切にすべき精神

わたしたちは「緑あふれるクリーンな日常を世界に」のビジョンの下に志を一つにする仲間です。共に学び、共に成長し、共に楽しみ、共に喜ぶ。企業価値を高め、お客様に社会に家族に誇れる会社となります。ライフラインの一端を担うものとして、存在できていることに感謝し、社会の進歩発展に貢献します。

わたしたちは役職、年齢、性別、国籍、その他個人を構成するものに左右されることなく、等しく、以下のクレドをもって、職務に従事します。

1. 貪欲に知識を求め、学び、見識を深めます。
2. すべてにおいて主体的に行動し、妥協を許さず、責任と喜びをもって従事します。
3. 心のこもったサービス意識を常に保ち、期待を超える行動で応えます。
4. 多様性を受け入れ、互いを尊重し、助け合います。
5. 感謝と尊敬の念を忘れず、すべての人とモノに慈しみをもち、環境へも最大限に配慮します。
6. 自らの成長が社会貢献へつながると認識し、努力を惜しまず、成長し続けます。
7. 未来への希望をもち、変化を恐れず、新しいアイデアの創出に挑戦し続けます。
8. 規律を守り、自らと周囲の安全性を確保します。

共に働く従業員への約束

共に働く従業員の皆様はビジョンの実現に向けて共に挑む同志です。志を同じくする皆様こそが加山興業において最も大切な財産であり、共に成長するパートナーです。多様性を尊重し、健康と安全に配慮した職場環境を整え、皆様とその家族の生活を守ります。個人を敬い、才能を最大限に伸ばすことができるように育成します。公平に活躍の機会を設け、公正に評価し、心身ともに健康で働きがいのある職場を形成します。

社会への約束

わたしたちはライフラインの一端を担うものとして、存在できていることに感謝し、その感謝の気持ちを形にしてお返しします。環境と深く関わる事業であるからこそ全力をもって、環境問題解決と環境保全に努め、社員一人ひとりの意識を啓発し、サステナブルな社会の構築に寄与していきます。

わたしたちは事業の枠に捉われず、良き企業市民として、意義ある社会事業や災害復興支援、文化・スポーツ支援、次世代育成、地域交流、国際貢献などの活動を積極的に行い、社会との共存・共栄を目指します。

わたしたちは自然災害に備え、危機管理を徹底します。災害発生時には速やかに安全性を確保し、早期復旧に努め、備蓄倉庫の開放や非常用電力の供給などでできる支援を行います。

わたしたちは社会から信頼される企業の一員として、法令を遵守し、安全管理を徹底し、誠実に事業活動を行います。

お客様への約束

わたしたちはお客様満足を追求め、快適な環境を創り出し、提供することが果たすべき使命であると心得ます。そして、それは未来も満たされるサービスであるべきです。わたしたちは常に知識を求め、学び、成長し、お客様の期待を超えるサービスを提供することをお約束いたします。また、お客様の信頼に応えるために、安全データの開示、法律・サービスに関する情報を適時適切にお客様にお届けします。

緑あふれるクリーンな日常を世界に。
これからも皆さまに、地球に、寄り添います。

代表取締役 **加山順一郎**

社長任期 / 2010年11月1日～

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。おかげ様をもちまして、弊社は創立60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の厚いご支援の賜物と深く感謝いたします。

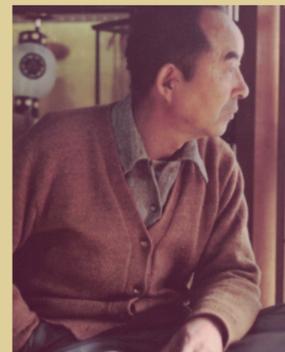
60周年を迎えるにあたり、私たちのあるべき姿を明確にするべく、KAYAMA'S DNAを作成しました。DNAとは私たちの身体を作る設計図と言われており、KAYAMA'S DNAはまさしく、私たちを形成する設計図と言えます。

創業以来、「とっても頑固なゴミ屋さん」として、徹底した適正処理に努めて参りました。これは私たちの本質であります。その本質にもう一步踏み込んでみると、「緑あふれる」=豊かな自然環境、「クリーンな」=廃棄物のない、自然エネルギーの利用、「日常」=ありふれた毎日こそが幸せであり、地球に暮らす全ての生き物が共存共栄し、幸せに暮らすことができる世

界が私たちの目指す未来のカタチであると至りました。この未来を実現することを指標として、事業活動を続けて参ります。それに伴い、「I'm Here!」を私たちの合言葉としました。一人ひとりが加山興業であり、KAYAMA'S DNAを持つものとして、一体であるという考えの下に「We=私たち」ではなく「I=わたし」を使用しています。「I'm Here! = わたしがおります。わたし承ります。」とおお客様の期待を超える行動でお応えすると共にお声がけいただけるようにいつもお側に寄り添うこと、また、寄り添うに値する存在であるように努力し続けることを表明しています。

社員一同、決意を新たに一層の努力をもって皆様のご厚情にお応えしていく所存です。今後も格別のご愛顧ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

HISTORY 加山興業60年の歴史は 環境保全の歴史



創業者 加山勇雄
社長任期 / 1961年11月1日～1978年4月10日

創業者・加山勇雄は誕生した島根県を離れ愛知県警の警察官として活躍していました。温厚で情に厚く、お人好し。
当時の日本は戦後特需の波に乗り、高度経済成長期へと突入しようとしていました。国民生活は潤い、産業界は活気づいていました。しかし、その一方で、廃棄物処理に関する法律は整っておらず、作ることに重きが置かれ、作る過程で排出される廃棄物や、不要となり廃棄されるモノへの関心は薄く、各地にゴミの山が築かれていました。実情を自らの目で見て知ることとなった勇雄は環境への影響と未来を危惧するようになりました。廃棄物を適切に処理することが真に豊かな未来へ通じる道であり、よりよい環境を残す事が日本人の使命であると考えました。
そんな「想い」から加山組(加山興業の前身)が誕生しました。個々を敬い、公平に活躍の機会を設け、評価される職場環境に努めました。
これが、加山興業の歴史のはじまりです。



環境基本法により、廃棄物処理基準が厳しくなり、当社も環境法に沿って、適正処理を行い、破碎・選別された可燃廃棄物や医療機関から感染性廃棄物、有害廃棄物処理のニーズに対応するように焼却炉を導入し、無害化し、サーマルリサイクルを行ってきました。



RPFは古紙やプラスチックといった廃棄物から製造され、石炭に変わる、ボイラー燃料として求められています。



1951 創業



取締役会長 加山昌弘
社長任期 / 1978年4月11日～2010年10月31日
会長任期 / 2010年11月1日～現在

最終処分場運営から中間処理事業への転換

加山興業株式会社は、昭和26年に前身加山組としてスタートし、昭和36年に加山興業株式会社となり、60年の時を経て、今日を迎えることが出来ました。これも一重にお力添えをいただきました皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。
病に倒れた父から会社を引き継いだ当時は、廃棄物の処理は野焼きからの鉄くず回収で生計を立てているような時代でした。法律が新設され、最終処分場を作ることが最大の仕事となっていました。大量の廃棄物、処分場はすぐに埋まり、自然を破壊し、近隣の住民から快適な住環境を奪い、次々と作られる埋立場。私は憂慮しました。我が社の出発点は処理です。焼却することにより、減量し、有害物や感染物を無害にすることができます。安全な焼却が叶えば、何ものからも奪うことなく、処理をすることが可能になるという思いから焼却炉の運営へ力を注ぎました。環境に有毒なガスを出

さずに安定して焼却することは容易なことではありませんでした。眠れない日を幾日も重ねて焼却炉を安定的に稼働させることが出来るようになりました。まさにこれが転換点となりました。私が求めた「奪わない廃棄物処理」は昨今、声高に言われている「サステナブルな世界」に通じる道であったと思います。
我が社はお客様へのサービス提供だけでなく、社会に寄り添う活動を積極的に行っています。私が目指していた会社のかたちをよりよく進化させてくれている社員各位には敬意を、そして、お客様及び協力会社各位、地域の皆さまには引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1978
加山勇雄 代表取締役辞任
加山昌弘 代表取締役就任

1984
最終処分場許可取得
(愛知県7箇所)

2000
蛍光灯処理
プラント竣工

2002
リサイクル
プラント竣工



2005
ISO14001環境
マネジメントシステム取得

加山昌弘 会長就任
加山順一郎 代表取締役就任

2010
OHSAS18001労働安全衛生
マネジメントシステム取得
ゴム再生事業開始
フロン類破壊事業取得
植林事業支援開始
園境なき医師団支援開始

2012
壁画プロジェクト



2014 TOBU JHS

松阪エネルギーファーム



B.LEAGUE所属「三遠ネオフェニックス」のスポンサーとして応援しております。地元チームを支え、地域全体の活気づけに繋がっていきます。

スポーツスポンサー開始



豊川市の小学校、長崎県豊島の小中学校、海外では東南アジアのラオスにおいて授業を実施してきました。バッカー乗車体験や、ごみ分別ゲームを通して、楽しく環境について学べるプログラムとなっています。

環境授業開始

2012



千両プラントに併設されているKAYAMAファームにて養蜂を行い、採取された蜂蜜に有害物質が含まれていないかを調査しています。私たちの事業が環境に影響を与えていないことを証明しています。

ミツバチプロジェクト開始
荷受け施設竣工

2014

2013
ISO14001とOHSAS18001の
マネジメントシステムを統合
環境ソリューション事業開始
再生エネルギー事業開始

環境に優しい再生可能エネルギー事業を展開しています。全国各地に太陽光発電と風力発電設備を導入。クリーンエネルギーの普及に努めています。

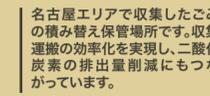


度島エネルギーファーム



松阪エネルギーファーム

2015
RPFプラント拡張
大府営業所設立



イベント出店



各種イベント出店を通じて、地域の皆様との交流を図っています。地元のお祭りや、B.LEAGUE試合会場にて、オリジナルはちみつレモネードを販売しております。

2016
光学選別機導入
ラオスにて案件調査開始



持続可能な社会の実現を目指したSDGsに賛同しています。企業研修や学校の講義の一端でSDGsカードゲームセミナーを実施。社内のみならず、社外への発信にも力を入れています。



弊社は低炭素社会貢献に目指し、リサイクル率の向上するため、光学式選別機を導入し、細かく選別することにより、RPFの原料を増加することが可能になりました。

壁画プロジェクト



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

「一反パートナー」による米作り支援



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。



環境事業ポスター



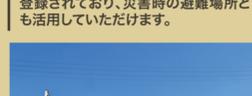
障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

「一反パートナー」による米作り支援



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

「一反パートナー」による米作り支援



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

小学生にリサイクルや環境保全についての関心を持ってもらうことを目的としています。優秀な作品には、社長賞を授与させていただきます。



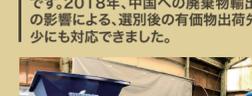
障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

「一反パートナー」による米作り支援



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

「一反パートナー」による米作り支援



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。



障害者福祉施設シニア豊川さんの田んぼにて、自然栽培の米づくり支援を行いました。田植えから稲刈りまでを共同で行い、地元の方との交流にもつながりました。収穫されたお米の一部は、フードバンクへ寄付させていただきました。

環境省によるJCM制度を活用して、ラオスにおける1.4MW太陽光発電事業を開始いたしました。
二国間クレジット制度【JCM】採択



廃棄物の排出量増加に対応できるように稼働いたしました。国内ではまだ珍しい4軸破砕機の導入、監視カメラや遠隔装置による火災対策も徹底しています。

市田プラント竣工

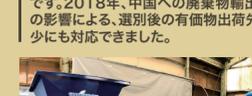
2020

みどりの図書



みどりの図書

鋼ナゲット製造ライン



鋼ナゲット



ラオスにて医療系廃棄物の処理を対象とした焼却炉を竣工しました。長年の日本でのリサイクル事業経験を活かし、海外の廃棄物問題の解決を図っていきます。

バイオトイレ導入



特殊技術により水を100%再利用した環境に優しいバイオトイレを導入いたしました。屋根には太陽光発電パネルを設置し、災害時でも安心して使用できるようになっています。